

願 がん

生 しょう



令和3年7月
第42号

念仏者の言葉

私はしばしば

仏を忘れるが

仏は私を忘れない



皆さんは普段から仏さまを思って生活されているでしょうか。そう聞かれると「いつもは思っていないが、困ったときに思う」という方から、「毎月のお勤めの時だけ仏さまを思う」などという応えが返ってくるのではないのでしょうか。もちろんそうでない方もいらっしゃるでしょう。そういう私もいつも仏さまを思っているかと聞かれれば、「はい」とは決して言えません。たいがい私たちが仏さまを思うときは、何か困ったときが多いのではないのでしょうか。「困ったときの神頼み」ならぬ、「仏頼み」といったところでしょうか。

いつもお勤めしている『正信偈』に「煩惱障眼雖不見・大悲無倦常照我」という文があります。これは「煩惱に眼を障えて見たてまつらずといえども、大悲倦きことなく、常に我を照らしたもう」と読みます。私の良し悪しによって物事の道理が見えなくなっている私たちに対して、仏さまの悲しむ大悲の心は、常に私たちを照らしているという事です。私たちはいつも自分にとって損か徳か、役に立つか立たないかという基準で物事を判断しています。「そんなものは当然だ」と思うかもしれませんが、その価値観を当然として疑いもしないことが悲しまれる所以だと思われれます。そして仏さまでさえも必要な時だけ都合よく利用しているのが私たちです。しかし私たちが忘れようが、都合よく求めようが、いつのときも仏さまはそんな私たちを丸ごと見つめて下さって、「広い世界に気付きなさい」と常に呼び掛けています。

祠堂経会のご案内



今年も祠堂経会しどうきょうえの季節になりました。祠堂経会しどうきょうえとはこれまで亡くなられたお寺のご門徒の方々の法名をお飾りし、読経を行い讃嘆供養さんたんくようする仏事です。まだ新型コロナウイルスが流行していますが、しっかりと感染防止対策を行いながら勤修いたします。今年も昨年同様にお齋とき（食事）はお出しせず、午前だけの勤修とさせていただきます。

また例年九月に行っていた門徒物故者法要は祠堂経会しどうきょうえの仏事の趣旨と重なるところがありますので、祠堂経会しどうきょうえに組み込んで行います。この一年間の物故者の方には別途ご案内いたしますので、是非ご参加下さい。

日時：七月三日（土）
時間：九時半～午前のみ お勤め・法話
法話 野田博俊師（朝日町明光寺住職）
お誘い合わせてお参りください

お寺のインスタグラム



お寺の日常の情報を若い方々を含むよりたくさんの方に発信するために、インターネットの SNS（ソーシャル ネットワークサービス）のインスタグラムを始めました。これはどのようなサービスかというと、写真などを定期的に投稿することで、興味のある方々に情報を発信するものです。「インスタ映え」などという流行語を聞いた方も多いのではないのでしょうか。今回はお寺単独ではなく、当寺が行っている英語塾である「テンプル英語スクール」と共同で行っています。内容はお寺の情報や仏教の法語であったり、英語塾の情報です。現時点ではほぼ毎日投稿しており、実際に見た方からは「面白い」という感想をおかげさまでよくいただきます。門信徒の方々のご家族なり、どなたでも構いませんので、少しでも多くの方に見ていただき、フォローしていただければ嬉しいです。アカウントは「テンプル英語スクール by 辻徳法寺」と検索下さい。

誌上法話／不安にまつゝ



お寺でインスタグラムというSNS（ソーシャルネットワークサービス）を始めました。インターネット上で写真を自由に投稿し、それを見た人が気に入れば「いいね」というボタンを押すものです。始めてみてしばらく経ちましたが、どのような投稿をすると評価が高くなるのかという傾向が何となく分かってきました。様々な写真をほぼ毎日投稿しましたが、一番反応が良かったのは「法語」です。法語とはこの寺報の最初のページに書いてあるような仏教の言葉です。あまり堅苦しいようなものは見たくないかと思いい、法語を投稿することに最初はためらいがありました。しかし一度法語を投稿してみると、これまでに多くの方より「いいね」をいただくことができました。またこれまでお寺にご縁のなかった若い方々より、「二度お寺に法話を聞きに行きたい」という言葉も聞かれ、驚いています。この反応を通して気付いたことは、私たちは自分の思いや価値観を超えた確かなものを求めているという事です。私たちは何とも言いようのない不安を抱えて生きています。自分の生活はいいのだろうか

ていくのだろうかという不安があります。健康面や人間関係や経済的な不安もあります。しかしある先生が「不安とは確かなものを求めているうめき」であるとおっしゃっているように、この不安というものは現実問題の解決や「気の持ちよう」によって決して無くなる訳ではなく、この不安という事を通して本当に自分が立つべき立脚地を探しているという事です。そこに気付かなければ一喜一憂してあつという間に人生が終わります。私たちは自分で気がつかなくても心の奥底で強く求め続けており、それが現実問題で悩む事を通して不安として自覚されます。ですので不安を無くす必要はなく、そこに立って向き合うものです。また法語というものは仏さまの真実に出会ったという言葉です。真実とは説明するものではなく、どこまでも不真実で真実に背き続ける自分であることを自覚させられる、その一点において感得かんたくされます。私たちは心の底で確かなものを強く求めながらも、日頃何の根拠もない、自分にとっての「良し悪し」を根拠として必死に生きています。ですのでそれを言い当ててくるような言葉に出会う事によって、自分に領く事が出来るのではないのでしょうか。そんなことを考えさせられました。

坊守日記

ぼうまもり



今年も夏休み恒例の「お寺のこども会」を開催します。英語教室が始まる前に、副住職が子供達と遊んでくれるので、子供達は英語を学ぶよりも副住職と遊ぶことが楽しみなようです。暇があればお御堂で遊んだり、境内でドッジボールをして遊んでいます。子供達から時間を気にせず遊んだり、お寺の探検を試してみたいと要望がありましたので、感染予防のために人数を制限してこども会を行います。内容はまだ未定ですが、楽しくお寺で遊びたいと思います。感染予防のために恒例の流しそうめんは出来ませんが、お子さんやお孫さんがいらっしやいましたら、ぜひお誘い下さい。



辻徳法寺『こども会』

7月25日(日)

10時～12時まで

会費：300円

お勤め、法話、工作、おやつ等
申込希望者は電話・FAX・メール
等にてご連絡ください。

編集後記



新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。お寺では住職と坊守が既に二回の接種を終えました。申し込みは私たち副住職夫妻がインターネットを利用して行ったために、非常にスムーズに予約をする事が出来ました。しかし月参り時に門徒の方々に何うと、電話での予約は込み合っほとんど繋がらなかったとのことでした。東京に住む娘さんがインターネットで予約してくれたという方や、同居の息子さんが仕事中に予約してくれたという方など様々でした。私は以前に在宅介護のケアマネジャーをしていましたので、家族の支援が見込まれる方や、支援が見込めない方など様々であることはよく理解しています。月参り時にもお伝えしていますが、もし集団接種の予約を行うが難しい場合には、お寺に来て下さればインターネットで代わりに申し込みを行いますので、気軽にご相談ください。

辻徳法寺

派 谷 大 宗
跡 聖 人 親
寺 聖 跡 三
本 柿 本

〒938-0031

黒部市三日市3214

TEL・FAX(0765) 52-0791

ホームページアドレス

<https://tokuhoji.net>

[@temple_english_tokuhoji](https://www.instagram.com/temple_english_tokuhoji)



今後の定例法座の予定は8月10日(火) 13時半～です。

9月10日(金) //

毎月誰でも法話が聞けるお寺です。気軽にお越しください。